

年	題名 論文 発表	学会と執筆者	出典	内容注記
2009	全村民健康管理への保健師の活動—旧八千穂村・元保健師 八巻好美氏 (戦後日本における予防・健康運動の生成・発展・現段階(下)佐久病院と八千穂村との歴史的協働(コラボレーション)を中心に)	大本 圭野	東京経大会誌. 経済学. (262) [2009]	八巻 好美インタビュー
2009	衛生指導員(現 地域健康づくり員)の活動—旧八千穂村・元衛生指導員会長,元保健福祉大学同窓会会長 高見沢佳秀氏 佐久穂町・地域健康づくり員会長 内藤恒人氏 (戦後日本における予防・健康運動の生成・発展・現段階(下)佐久病院と八千穂村との歴史的協働(コラボレーション)を中心に)	高見沢 佳秀, 内藤 恒人, 大本 圭野	東京経大会誌. 経済学. (262) [2009]	高見沢 佳秀; 内藤 恒人インタビュー
2009	佐久穂町における保健推進員の役割—佐久穂町保健推進員会長 島崎規子氏 (戦後日本における予防・健康運動の生成・発展・現段階(下)佐久病院と八千穂村との歴史的協働(コラボレーション)を中心に)	島崎 規子, 大本 圭野	東京経大会誌. 経済学. (262) [2009]	島崎 規子インタビュー
2009	地域健康学集会のとりにくみ—高齢者が元気な町～私たちがいきいきと歳を重ねたい	佐久穂町地域健康づくり員 小須田武弥 ほか 保健推進員 玉田三千代ほか	日本農村医学会雑誌 巻:57号:5 頁:737	
2010	地域福祉の実践を通じたまちづくりへの模索 「宅老所やちほ」の開設の意義と成果	井出正利, 浅井弘幸, 佐々木茂, 由井千恵; 佐久穂町役場 征矢野文恵, 渡辺剛; 佐久病院	日本農村医学会雑誌 巻:58号:5 頁:575	
2010	八千穂村在宅福祉の取り組みの成果と考察—在宅介護支援センターの役割を考える	征矢野文恵, 渡辺剛; やちほ在宅介護支援センター 佐々木茂, 浅井弘幸; 八千穂村役場	日本農村医学会雑誌 巻:58号:5 頁:862	
2010	「宅老所やちほの家」開設の意義と効果	今井 靖, 征矢野 文恵, 輿水 さと子, 朔 哲洋, 佐藤 ひろみ, 東川 房子, 富澤 恵利子, 篠原 晴美, 出浦 美穂子	日本農村医学会学術総会抄録集, Vol. 59 (2010) No. SPACE pp.25-	
2010	戦時下における農村保健運動の戦後への影響	須田 秀俊, 横山 孝子, 松島 松翠	日本農村医学会学術総会抄録集, Vol. 59 (2010) pp.103-	産業組合による農村保健運動から八千穂村全村健康管理事業に至る系譜を紹介する。
2010	社会保障の50年を考える—八千穂村全村健康管理と住民活動	松島 松翠	文化連情報: 2010-11, vol392 p28 ~ 33	ソーシャルキャピタルの一例として佐久穂町の健康管理を紹介している。

年	題名 論文 発表	学会と執筆者	出典	内容注記
2010	生活習慣病から寝たきりにならないために	加藤守人,井出秀明,新津喜章,佐塚澄江,小須田玲子,佐塚美佐子,有賀知和子,大澤ひろみ,伏見明子,井出洋子,鳥川恒子,篠原直子,相馬まさ江,輿水成美,新海秀代,荻原礼子,新津澄江,加藤紀子:佐久穂町	日本農村医学会雑誌 巻:58 号:5 頁:574-575	

全村健康管理研究リストの作成方法

このリストは松島先生と行なった小宮山新一業績調査により副次的にみつかった昭和30年代の国内健康調査研究リストを基に、今年の2月から全文検索可能になった『日本農村医学会雑誌』(1957-1980)で補い、さらに1981-2000年までは『日本農村医学会雑誌』を現物縦覧して作成した。

このほか各種の検索エンジンにより抽出した文献の論文タイトルに「八千穂村」が含まれているものを挙げた。内容注記はすべての文献につけることができなかった。以後逐次更新し公開していくつもりである。

最後に、全村健康管理は今が最大の試練に直面している。このリストがこれからも増えていくことを祈っている。(佐久穂町役場:須田秀俊)

編集後記

八千穂村全村健康管理の開始から半世紀以上が経過した今、あらためて健康管理について論述することに積極的な意味があるのか、自問しました。

佐久病院は、八千穂村において他町村に先駆けて住民や行政、地域の諸機関と協働し健康管理に取り組み、「予防は治療に勝る」ことを実証し、現在まで活動を継続してきました。ただし、人々が活動初期にもっていた情熱は年月を重ね人が変わる内に冷めていくことがあるように思います。現在の保健専門職を考えたとき、八千穂村の健康管理を身体感覚や感情を伴うリアルなものとして捉えている人が増えているのかということも心もとないのです。

確かに、多くの職員は業務が忙しいために地域活動に時間が割けず、地域活動に継続的に携わるのは専門部署の一部の職員になってしまっていたという状況が影響したかもしれません。しかし、健康な地域づくりは農業協同組合の病院としての使命であり、地域活動にやりがいを見出す仲間の輪を広げていくためには、私たち自身が健康管理の実際の様子を語る必要があるのだと思い決めました。

そこで今回の記念誌は、単に八千穂村の地域活動の優れている点を記述するのではなく、様々な社会的問題に対して人々がどのように考え対処したのか、その過程を丁寧に辿ることによって、私たちが継承すべきものや課題とすべきものを考えることに力点をおきました。内容としては、保健分野だけでなく、時代とともに住民のニーズとして大きくなった福祉や地域リハビリテーションも取り上げることにしました。自ずと執筆は健康管理部の職員の他、経験豊富な様々な部署の職員と職員OBにも依頼することになりました。

主体的に健康づくりに取り組んできた住民、住民とともに地域活動をすすめてきた行政や医療機関の専門職など、時代の変化とともに生じてきた地域の課題を捉えて解決のために尽力した人々の具体的な姿が語られました。中には関係者の間で起きたもめごととも率直に記述されています。これら八千穂村を舞台とした人々の実践記録を私たちの地域に存在する社会的課題に目を向けていく契機にしたいと願っています。現在の日本においても、社会的格差や社会的排除、社会的支援の不足、幼少期の問題、ストレスなど「健康の社会的決定要因」(WHO、2003年)は過去のものではないからです。

本年3月に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故は、まさに健康の社会的決定要因を複合的にもたらしています。今なお人々の生活は不安的な状態にあります。被災した方々が自分の立場や境遇を超えていのちと暮らしを守るために行動している姿には、全村健康管理に関わった人々と共通のものを感じるのです。

佐々木定男さん、杉山章子さん、吉川徹さん、遠藤隆也さんにはご多忙にも関わらず記念誌に寄稿いただき、また、貴重な提言をいただきました。松下拡さんには、「八千穂村への提言」の再録について快諾いただきました。皆様に衷心より感謝申し上げます。そして、なかなか予定通りすまない編集作業に辛抱強く対応してくださった佐久印刷所のみなさんにも、厚くお礼を申し上げます。

是非本書を地域で保健や福祉の活動に取り組む多くの方々に読んでいただきたいと思います。八千穂村で健康管理を実践してきた人々の思いの一端でもお伝えできれば、この上ない幸せです。

(前島 文夫)

執筆者一覧 (五十音順・指定なきは佐久総合病院)

浅沼 信治	前(財)農村保健研修センター所長	杉田 利子	地域健康管理科保健師
飯嶋 郁夫	元事務長(元地域健康管理科課長)	杉山 章子	日本福祉大学教授
池田 拓也	救命救急センター事務主任	関 郁男	地域健康管理科看護師
伊澤 敏	院長	征矢野文恵	人間ドック科師長
市川 彰	リハビリ科技師長	高瀬 美子	地域健康管理科保健師主任
市川 奨	地域健康管理科事務員	高橋 知子	地域健康管理科保健師
一本鎗七恵	地域健康管理科保健師	高見澤葉子	地域健康管理科臨床検査技師
井出 潤一	地域健康管理科看護師	土屋 樹里	地域健康管理科事務員
井出 成一	医療社会事業科ソーシャルワーカー	中澤あけみ	地域健康管理科師長
井出まさ子	人間ドック科保健師主任	中澤 智宏	医療社会事業科科長
井出 玲子	訪問看護ステーションやちほ所長	中山 大輔	業務課事務員
今井 靖	やちほの家 介護福祉士	夏川 周介	統括院長
内田 直人	元秘書課課長	西垣 良夫	副院長
遠藤 隆也	M-SAKUネットワークス	前島 文夫	健康管理部部長
金井 未来	地域健康管理科臨床検査技師	松下 拡	元松川町教育委員会教育主事
木次志真子	白田地域包括支援センター ソーシャルワーカー	松島 松翠	名誉院長
木村 道子	地域健康管理科看護師	水澤 美芳	地域健康管理科副師長
倉根 大和	地域健康管理科臨床検査技師	山崎しげみ	地域健康管理科看護師
小林 由佳	地域健康管理科事務員	油井 幸子	地域健康管理科事務員
小林 栄子	元地域健康管理科師長	横山 孝子	佐久大学講師(元地域健康管理科師長)
小林 洋平	地域健康管理科臨床検査技師	吉川千代子	前地域健康管理科師長
小山千恵子	地域健康管理科看護師	吉川 徹	佐久市望月 多津衛民芸館主宰
佐口 真子	地域健康管理科保健師	吉田 翼	地域健康管理科保健師
佐々木定男	佐久穂町 町長	渡辺 剛史	医療社会事業科ソーシャルワーカー

編集委員 西垣 良夫、前島 文夫、油井 博一、市川 和泉、高杉 進、中山 大輔、中島 洋輔、
 遠藤 徹、征矢野文恵、中田 伸博、油井 公昭、高橋 優文、吉川千代子、高瀬 美子、吉田 翼
 編集顧問 松島 松翠、飯嶋 郁夫、横山 孝子、小林 栄子
 編集協力 須田 秀俊(佐久穂町役場)
 写真・資料提供 佐久穂町役場 裏表紙イラスト 舟田 治彦(佐久印刷所)

健康な地域づくりに向けて

— 八千穂村全村健康管理の五十年 —

頒布価 3,000円

2011年3月31日 第1刷 発行

2011年9月1日 改訂第1刷 発行

発行：JA長野厚生連佐久総合病院
 〒384-0301 長野県佐久市白田197
 電話 0267(82)3131 FAX 0267(82)9638
 印刷：株式会社 佐久印刷所